電機連合 千葉地方協議会

平戸 航太
公式HP



参議院議員　参議院比例区第１総支部長

平戸航太

【プロフィール】
●1987年生まれ(39歳)
●長崎市生まれ伊王島育ち
●九州大学大学院修了
●日立製作所で設計者として勤務
●こくみん政治塾第一期生
●2025年7月、参議院議員選挙初当選(比例区1期)

【党役職】
エネルギー調査会事務局次長　　選挙対策委員会事務局長
経済網査会副会長　　政務網査会副会長
安全保障調査会(外国人土地問題WT)事務局長

10月27日、第222回臨時国会における経済産業委員会にて質疑に臨みました。取り上げたのは大きく3つ。

① 現在の物価水準や経済実態を踏まえた場合、「少額減価償却資産の対象額の見直し」が必要では。
② データセンターの基盤強化に向けては、重要な構成製品であるハードディスクドライブ(HDD)をはじめとした重要構成部品および関連部素材のサプライチェーン強化にもっと目を向けるべきでは。
③ データセンターの新設などに伴う電力需要を支えるためには「SMR(小型モジュール炉)をはじめとした次世代革新炉の開発・設置」に向けた環境整備が必要では。　それぞれの質疑についてポイントを報告します。

①少額減価償却資産の対象額見直しについて

平戸航太の発言要約



・少額減価償却資産の取得額基準が、「10万円/20万円の壁」として30年近く据え置かれている。
・現在の物価水準や経済実態と乖離していることで、売り手側の適正な価格転嫁を阻害している実態もある。
・基準額の引き上げを含む制度見直しは必要不可欠ではないか。

赤澤経済産業大臣の答弁要約



・令和9年度税制改正要望では、減価償却資産の取得価額基準の見直しを要望している。令和8年度税制改正で中小企業者と対象とする30万円未満の取得価額基準を40万円未満としたことが参考になる。
・基準額が価格転嫁に与える影響については、実態把握の方法も含めて検討する。

質疑の様子はこちらのQRコードからご視聴いただけます。
（参議院インターネット審議中継）

②データセンター(DC)関連産業への支援について

平戸航太の発言要約

・AIの普及に伴うデータ流通量の増加によりDCにおけるストレージ需要の大幅な拡大が見込まれている。
・しかしハードディスクドライブと関連部素材分野に対する支援枠組みは未だ十分に整備されていない。
・ハードディスクドライブとその関連部素材はDCを構築する上で不可欠な製品であり、日本企業が強みを持つ分野だと承知している。
・我が国の産業競争力および経済安全保障の観点からも極めて重要であるため、研究開発支援や国内生産基盤の強化を推進すべき。

赤澤経済産業大臣の答弁要約

・官民投資ロードマップでは、クラウドデータセンター分野において、データセンターを支える先端技術の実現に向けた研究開発力と生産基盤の確保を支援する方針である。先端的なハードディスクドライブも当然その対象に含まれている。
・ハードディスクドライブと関連部素材はデータセンターを支える重要技術であり、経済安全保障の観点からも、その研究開発力と生産基盤の確保に向けて支援する。

③SMRの国内開発・社会実装に向けて

平戸航太の発言要約

・生成AIの普及やデジタルサービスの高度化に伴い、国内外でデータセンターの新設・拡張が相次ぐ。特にAI用GPUサーバーの導入増加により、消費電力も急増している。データセンターはデジタル社会を支える重要インフラである一方、電力供給や送配電網への影響検討が欠かせない。
・その対応策として期待されるSMRは、技術開発や立地、サプライチェーン、人材確保など課題が多い。国内の実効的なエネルギー選択肢とするため、取り組みの明確化と加速が不可欠だ。

赤澤経済産業大臣の答弁要約

・4月に策定した次世代革新炉導入ロードマップに基づき、SMRの国内実用化に向け民間研究開発支援やサプライチェーン強化、人材育成環境整備を進める。
・日米戦略的投資イニシアチブにはSMR導入が含まれ、日本企業の参画による知見獲得と、将来的なSMR導入への貢献が期待される。
・国内の次世代革新炉開発設置に向け、事業者の安全性研究開発や機器製造設備投資を支援し、日本原子力人材コンソーシアムを活用して技能承継、教育研究基盤強化、将来世代育成を進める。

※今回の質疑では、3つのテーマそれぞれに大臣から前向きな答弁をいただいています。今後も引き続き政府の取り組みや論議・業界の動向を注視するとともに、様々な機会を通じて政府に働きかけてまいります。

◇ 番外編　インターンがやってきた！◇

10月26日からの1週間、平戸事務所にインターンとしてパナソニックコネクト労働組合関西支部の「辻田和真」副委員長が来てくれました。辻田さんは来年4月に行われる統一地方選挙において、国民民主党から公認されることが内定しています。



そしてこの1週間はなかなか濃厚な1週間で、委員会質問や国会見学、JCMとの懇談会に毎朝の部会や調査会と一通りのイベントが勢ぞろい。ぜ～んぶ経験して帰られました。

実はこの国民民主PRESS号外も、辻田さんまとめでした～
辻田さん、大変お世話になりました　m(_ _)m



公式LINEで日々の活動発信中

登録は簡単、約2ステップ!
ぜひ登録をお願いします。
登録はこちら➡

公式LINEのほか各種SNSでも日々の活動を発信中!

X(旧Twitter)　YouTube　Instagram　TikTok　Facebook